



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ
Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーウ

Weekly Bulletin

30th anniversary

藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

例 会 第 1 3 8 4 回： 通常例会/小杉苑
ソング それでこそロータリー、もみじ : ソングリーダー 阿井誠君

原点回帰

■ 会長挨拶 松浦正秋君



今月のロータリーテーマが地域社会の経済発展でありますので、コロナ禍で地域が疲弊しているので各々が頑張って商売をして、地域内の経済を

回しましょうという挨拶をしようと考え、関連のHPを眺めていました。個人的な感想ですが、改めて国際ロータリーの掲げる奉仕がエンドポリオも含めて、国際奉仕が中心になってきていると感じました。

特別月間とは月毎に取り組むテーマを掲げ、クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう、国際ロータリー理事会が指定したテーマのことで。

今月の「地域社会の経済発展月間」は、貧困地域の経済発展を目的として、起業家・地域社会のリーダー・地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援をするとあります。そのほかには、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、平和構築と紛争予防、水と衛生、母子の健康と国際奉仕のテーマが6か月あります。世界的な奉仕団体としては必要な取り組み課題だと感じました。

しかしながら、改めて思ったのは、自分自身の足元を見つめて職業奉仕を考えたいと感じた今週です。

■ 出席報告 笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
46/51 90.19%	46/51 90.19%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○江崎君 ○大村君 ○中村君 ○村松章隆君
川口君

(2) メイクアップ者

杉山茂範君 (榛南) 桑原茂君 村松章隆君

食事準備数	食事提供数	残	累計残
50	49	1	13

パーフェクト例会数 😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX 笠原大輔君

- ・妻の誕生日プレゼント ありがとうございます
渡辺哲朗君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。又、合わせて結婚記念日のお祝いも頂きありがとうございます。これからも仲良く行きたいと思います。 山田壽久君
- ・誕生日プレゼントありがとうございます
樽井勉君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。今日50ウンオになりました。好き嫌い

の激しい妻ですが、楽しく夕食をとりたい
 と思います。 植田裕明君
 ・結婚記念日のプレゼントありがとうございます。
 10月30日は、忘れずに家で祝いたい
 と思います。 古川賢吾君

スマイル累計額 283,000円

■ 会員卓話



高杉光洋君

過日、友人のご
 家族に不幸があ
 りお悔みに伺い
 ました。
 静岡のセレモニ
 ーホール「もが
 り石萬」と言う
 ホールでした。

私の母も4年ほど前に同じセレモニーホールを
 お借りして葬儀をした経験があります。
 オーナーの方にもがりの意味を尋ねたところ
 殯（もがり）とは、日本の古代に行われていた葬
 送儀礼。死者を埋葬するまでの長い期間、遺体を
 納棺して仮安置し、別れを惜しみ、死者の靈魂を
 畏れ、かつ慰め、死者の復活を願いつつも遺体の
 腐敗・白骨化などの物理的変化を確認すること
 により、死者の最終的な「死」を確認すること。そ
 の柩を安置する場所をも指すことがある。 殯の
 期間に遺体を安置した建物を「殯宮」（「もがりの
 みや」、『万葉集』では「あらきのみや」という。
 現在では、天皇・皇后・太皇太后・皇太后の大喪
 儀の一つとして行われるそうです。
 あまりにも大変な儀式なので現上皇様は自分の
 時には通常の火葬でとお話されたとか・・・
 棺と言う字も二種類あるそうでして
 棺⇒棺桶その物体の事
 柩⇒中にご遺体が入っている事
 だそうです。



佐野芳正君

■一週間に
 一度の例会
 ・居心地の
 良い会
 ・妻と会話
 をするより
 時間が多く、

内容が濃い

- ・会員の縦と横の多様なつながりがある。世代差があっても気軽に話が聞ける。
- ・会員は平等、会長が終われば、いち会員となる。
- ・50本の糸をつなぐために新会員の各テーブル訪問が必要

■職業奉仕

- ・業界の団体や会議所での活動こそ職業奉仕
- ・四つのテストは職業倫理

■先輩の世代 後輩の世代 同世代

◇先輩の世代（70歳代）：会を導く羅針盤

- ・時の会長がやりたことをやればよい→会長の自信につながる
- ・会長が途中で交代したことはない→事前に調整する

- ・会費を上げるな。その前に工夫したか →
- ・クラブの規律を正す→親しき仲にも礼儀あり

◇後輩の世代（60歳まで）：なんでも完璧にこなす

- ・朝比奈年度 IMにおいて
 我が地域の和食文化・地酒。利き酒の事業では各部会で活躍した
- ・渡邊年度 クラブ運営・親睦委員会
 クラブ運営小委員会 親睦小委員会での活躍した
- ・CLPでの組織変更 伊藤恒夫会長
 なぜ・いつから、小委員会になったか。
 RIの指示でクラブ奉仕委員会からクラブ運営・親睦委員会へ。

◇同世代（60歳代）：同じ釜の飯をいただいた仲間

- ・瀬戸の花火・花見 国際交流 ツーリングクラブ 宮古島 隠れ家

■ロータリーの事業は3年のサイクル

◇ステップ1 発案

自分の得意分野をテーマにする 伴野会長：身障者とボーリング

◇ステップ2 発展 他団体との共催

◇ステップ3 事業の集大成

◇その後 市民に渡し継続

事例 1：15 周年記念事業「里山保全と水保全」
2004 年～2006 年里山写真展は、地元によりその後 15 年継続

事例 2：お花畑でお話し会 2017 年
江崎会長 10 回 1 年で 3 回
藤枝子どもと本をつなぐ会と共に開催。同会は、令和元年 市民団体活動表彰受賞

おめでとうございます！
頑張ってください！



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/16(金) 第 1385 回	職場訪問	藤枝農産加工所
10/23(金) 第 1386 回	会員卓話	小杉苑
11/6(金) 第 1387 回	会員卓話	理事会
11/13(金) 第 1388 回	公共イメージ	小杉苑



今週の一言

数野晴紀君



私は学生時代から車で旅行することが好きで、沖縄以外を車で旅行しました。家族旅行も毎年、車で旅行しており、遠いところでは夜中に出て朝一に長崎に着くように行く家族旅行をしたりもしました。現在、このコロナ禍で今年はまだ家族旅行に行くことができていません。

行ってよかったところは、東北です。学生時代も家族旅行でも行っており、5 月には角館から弘前へと桜前線とともに北上して花見を楽しんだことや、学生時代に夏に青森を訪れた際はたまたま、ねぶた祭りの日と重なり、祭りを生で観光できたことはとても良かったです。コロナが収束して東北 3 大祭りにぜひ行ってみたいです。皆様もぜひ東北に行ってみてください。